ふれあいネットワーク

社協だより

IZUMI-KU COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

いずみ

2011.3.1
春号
No.89

23.3.1発行

社会福祉法人 仙台市泉区社会福祉協議会
〒981-3131仙台市泉区七北田字道48番地の12
仙台市泉社会福祉センター内
TEL 022(372)1581
FAX 022(372)8969
E-mail info@shakyo-s-izumi.or.jp
HP http://www.shakyo-s-izumi.or.jp

▲黒松地区社協での「あんしんカード」配布の様子。
あんしんカードについては2ページに関連記事を掲載。

「もしもの時に役立ちたい！」

▲泉区社協で作成している「あんしんカード」について仙台市泉消防署の救急隊員の方に活用法を伺いました。

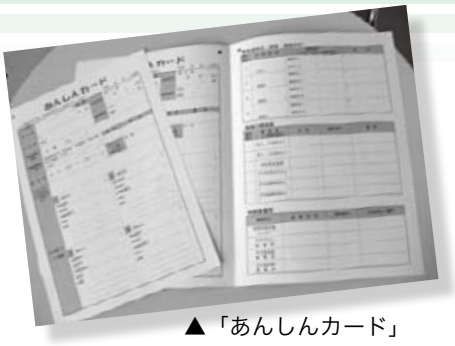
主な内容

P2 ひとり暮らし高齢者の安心のために
P3 GO! GO! 地区社協
P4 民生委員・児童委員って？
P5 赤い羽根共同募金 献血のお願い 他
P6 ボランティアセンターニュース
P7 自立生活プログラム
P8 インフォメーション 他

点訳版発行　朗読テープ

ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

この広報誌は皆様の会費により作成しています。



▲「あんしんカード」

ひとり暮らし高齢者の安心のために…

「あんしんカード」とは…ひとり暮らしの障がい者や高齢者世帯を対象として、ご本人に万が一のことが起きた場合に備えて、身体の状態やかかりつけの病院、ご家族などの緊急連絡先等を記入していいただき、発見者や救急隊員が迅速に対応できることを目的としたカードです。地区社会福祉協議会や民生委員児童委員さんの安否確認活動が必要な方へ配布しております。今回、泉区内の関係機関と内容を検討し、新しく作成しております。

※「あんしんカード」は社協会費で作成されております。

泉消防署救急隊員に聞きました！

「あんしんカード」の活用法

救急隊員は日頃の救急活動で、一刻も早く傷病者を病院に収容するため、氏名・年齢・既往歴やかかりつけ病院等の情報を本人や家族から聴取しております。「あんしんカード」は傷病者が重篤で意識がない、苦しくてお話ができない等、本人から情報が聴取できない場合や、万が一外出先でけがや病気に遭われた時にも、このカードの写しを携帯していただければ、一人でも多くの尊い命を守ることに繋がるものと考えております。この「あんしんカード」は部屋の中の目立つ場所に置いていただき、緊急連絡先の記載と記載内容を常に最新のものにしていただければ幸いです。

▲「あんしんカード」の情報を元に連絡をとります

泉消防署からお知らせ

救急車の適正利用について

救急車はタクシーではありません。119番通報する前に、本当に救急車が必要か、自家用車やタクシーが利用できないか、今一度考えてみてください。本当に救急車を必要としている方を救うために救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救命講習会の開催について

心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使い方や止血などの実技講習が行われます。

受講を希望される方は事前に泉消防署へ連絡をお願いします。

夜間救命講習（毎月第4水曜日18:00-21:00）も行っております。

（お問合わせ先）泉消防署警防課救急係　TEL 373-0119 ／ FAX 374-7343

GO! GO! 地区社協

小地域福祉ネットワーク活動紹介

※社協では、地域の住民同士の皆様が互いに支え合う活動を小地域福祉ネットワーク活動と称し、この活動が活発に行われることを推進しております。この活動により外出の困難な方が出かけやすくなったり、サロン等の集いをきっかけに地域での楽しい交流が進んでいます。

住吉台地区社協の雪かき支援

▲これで安心。

住吉台地区は泉区でも西部に位置し、積雪も多い地区です。そこで毎年冬には地区社協活動の一環としてひとり暮らし高齢者等の除雪が困難な世帯に対して雪かき支援を行っています。

今回雪かき支援を受けた方は、「今までは自分で雪をかいていたが、腰が痛くなるので雪が降ってもそのままにしていた。でも、そのままにしておくと滑って転ぶ不安がありましたが、今は地区社協の方が雪をかいてくれるので安心です」と感想をいただいた。

住吉台地区社協の飛弾会長は「雪かきをしていると、一緒に手伝ってくれる人が増えてきています。もっとこのような輪が広がってくれれば」と話してくれました。

ハートフル松陵地区社協の子どもから高齢者まで参加のサロン

ハートフル松陵地区社協では、毎月1回、松陵2丁目集会所を会場に幅広い世代を対象としたサロンを行っています。

子ども達と高齢者がおいしい飲み物を飲みながら、みんなで歌やゲーム、そして会長さん自らの読み聞かせ等楽しい内容が盛りだくさんのサロンです。

▲みんなで楽しくトランプゲーム

ハートフル松陵地区社協千葉会長は「地域のつながりで生まれた縁を大事にしていたらこのようなサロンの形態になった。これからは、高齢や小さいお子さん、若者やお母さんなど様々な方が集まることで更に楽しいサロンになれれば。」とのお話をいただきました。

民生委員・児童委員って??

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談相手です。高齢者や障がい者、児童や生活保護世帯等、さまざまな分野で、相談に応じ、専門機関や福祉サービスの紹介もしています。

安心して健やかに子どもを生み育てられる環境づくりに励んでいる人々を児童委員と言いますが、民生委員は、児童委員も兼ねています。その中でも、児童福祉を専門とした人々を主任児童委員といいます。

2010年12月に3年に1度の改選期があり、泉区でも新しい民生委員・児童委員を迎え、全234人で日夜活動しています。

Q1 どんな人が選ばれるのですか？

町内会や自治会、ボランティア団体やＰＴＡなど、社会福祉に対する理解と熱意があり、地域の実情に精通した方を選考し、厚生労働大臣が委嘱します。

Q2 お給料や任期、年齢制限はあるのですか？

民生委員に給与は支給されません。任期は３年で、再任も可能です。ただし、住民の期待に答えるために、将来にわたって積極的な活動を行えるよう、泉区では、民生委員は75歳未満の人、主任児童委員は55歳未満の人が選考されています。

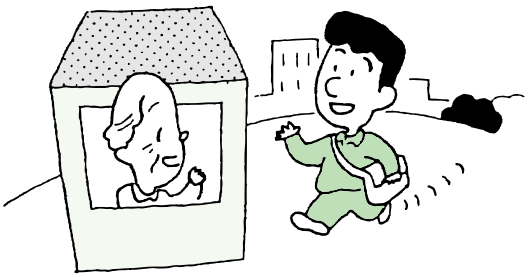
Q3 何か決まりごとはあるのですか？

民生委員は、３つの基本姿勢を守り、活動に励んでいます。

①社会奉仕の精神で、社会福祉の増進に努めます！

②基本的人権を尊重するため、相談者の秘密は守ります！

③地位を政治的に利用しません！



Q4 どんなことをしているのですか？

①見守り活動　②相談援助　③住民の生活支援

④関係機関との連絡・連携・調整係　⑤情報提供

⑥問題点や意見をまとめて、行政に提起

⑦研修会や会議への参加

など、幅広く多くの活動をしています。

今回、泉区の民生委員は、次頁の研修会に参加しました!!

“心の声を聴こう・今あなたにできること”

平成22年度　泉区民生委員児童委員研修会

▲講師　大沼えり子さん

日時・場所　平成23年1月18日（火）　午前10：30開会　イズミティ21

目　的　今回の研修会では、住民に身近な立場にある相談者としての視点から、対人援助やコミュニケーションの取り方について、事例を通して考え、生活者のよき相談相手、支援者として、知識と見識を高めることを目的に開催しました。

講　師　講師は、作家・保護司・ＤＪと多方面で活躍されている大沼えり子さんをお招きしました。非行少年の更生と健全育成に寄与するための「少年の家」特定非営利活動法人RosyBell ～ロージーベル～の代表も務め、日々子どもたちのために活動しています。

研修を終えて…　泉区民生委員児童委員協議会　副会長　松本淑子

「元気、やる気、勢い」をモットーに、活動の様子がテンポよく話されていき、開始数分で我々は、ぐいぐいと吸い寄せられていきました。
“笑顔を増やそう”と呼びかけ更生に導いていく活動、ありがたいの一言です。

ご協力に感謝いたします

平成22年度募金額中間報告

H23.1.15現在　単位：円

戸　別	18,617,543	街　頭	265,914
法　人	80,304	職　域	56,259
学　校	319,778	その他	21,174
合　計	19,360,972		

泉区内の皆さまからご協力いただきました募金は、仙台市共同募金委員会を通して、宮城県共同募金会へ送金し、翌年度の福祉事業に配分されます。

泉区募金会

献血のお願い

日赤泉区地区

- 献血にご協力ください。
- ご協力いただく際は、身分証明証のご提示をお願いしています。
- 採血時間は10分～15分程度です。

日にち	時　間	場　所
3月16日（水）	13:30~16:30	泉区役所1階ロビー

◎平成23年度福祉事業振興助成金　速報

泉区内において、社会福祉の振興を目的とした福祉事業振興助成金について、厳正な審査の結果、下記団体の事業について、助成が決定いたしました。

Aプラン（先駆的事業）

・ボランティア泉区連絡会
「安全で安心な住み良い“泉区”を目指し活動するボランティアグループ結集と活動継続支援の事業」…262,800円
・音楽ボランティアトーンチャイム泉
「いつまでも元気で生活できる音楽活動のお手伝い」… 99,750円

Bプラン（継続的事業）

・泉区福祉ガイドブック作成委員会
「泉区福祉のつどい」…… 50,000円
・泉手をつなぐ親の会　「成人を祝う会」…… 50,000円
・NPO法人みどり会泉地区いずみ会「研修会」… 50,000円
・宮城朗読奉仕会(泉会)「デジタル録音機材の購入」… 47,000円

泉区ボランティアセンターNEWS

はらボラ

Heart and TRY!

2011.2
Vol.31

■編集・発行／泉区ボランティアセンター（泉区社会福祉協議会内）
〒981-3131 仙台市泉区七北田字道48-12　TEL 022(372)2603　FAX 022(372)8969
E-mail info@shakyo-s-izumi.or.jp　URL http://www.shakyo-s-izumi.or.jp

地域に根付くボランティア　団体を紹介します

「宮城朗読奉仕会」

音訳＝耳で聞いてわかる読みを！

宮城朗読奉仕会は昭和47年に発足しました。視覚障がい者のために、本や雑誌を『音訳』しているボランティアグループです。一般的な『朗読』と違い『音訳』とは本そのものを『音声』で伝えること。つまり、本の中に載っているものなら図や写真、イラストまでをも情報として出来るだけ読みあげる『音声訳』のことです。本の内容を正確に、しかも『朗読』のようにオーバーにならず聞きやすく読むために、多くの時間を下調べに費やしながら『何も足さず、何も引かず』をモットーに日々活動しています。

活動の拠点は、宮城県視覚障害者情報センター（旧点字図書館）で、同センターの蔵書となる録音図書の制作をメインに、視覚障がい者を対象に、各種取扱説明書などの音訳、対面朗読、会独自の録音雑誌の製作もしています。

泉区では「声の社協だより泉区版」、泉障害者生活支援センターふらっと泉だより「ふらっと日和」音訳版等の製作活動、小学校での読み聞かせ活動、宮城県図書館での視覚障がい者への対面朗読をしたりと、様々な活動をしています。

▲研修会の様子。

▲音訳する前に、十分な打ち合わせを行ないます。

ボランティアアドバイザー紹介

自分の体験をもとに、同じボランティアとしてさまざまな相談や活動希望者への“きっかけづくり”をお手伝いするアドバイザーをご紹介します。今回は、「黒松地区社会福祉協議会」の阪野雅之様です。

自ら望んで動く―人も世界も変わる？

昨年11月のある日、校外学習の登山ボランティアとして、近くの小学校児童たちと泉ヶ岳に登った。山を歩く子どもたちを、一緒に歩きながら見守るのだ。今年度、地域の力を児童の学習に活かす仕組みである「学校支援地域本部」が小学校にできた。今回はそこから声がかかったのだった。昼食も何もかも自分持ちである。そしてボランティアなりに責任が伴うのも当然である。

ボランティア―自ら望んですることだから、活動全体に支障をきたさない限り、参加してよかったという「自己満足」でかまわない、と思っている。

私の場合、そのきっかけは地区社協宛に届いた「ボランティアアドバイザー養成講座」案内をみて受講したことだ。また小学校の30周年を期に始まった「黒松パネット」という小学校区内の父親たちの活動だった。

今、自ら望んで、できるときにできることをする―それによって人の関係も自分が見ている世界も変わるかもしれないと思っている。

ボランティア保険

22年度にご加入いただいたボランティア保険（ボランティア活動保険）の補償期間は平成23年3月31日までです。23年度（23年4月1日～24年3月31日）の保険の加入受付を3月1日から受け付けております。詳細については、泉区ボランティアセンターまでお問い合わせください。

仙台市泉障害者生活支援センター「ふらっと泉」

自立生活プログラム

テーマ

どのような部屋に住みたい？お仕事をするってどんなこと？

▲寺岡「フラワーハウス」様にてフラワーアレンジメント

障がいを持った方の地域生活の支援をする「ふらっと泉」では、平成22年度自立生活プログラム「どのような部屋に住みたい？お仕事をするってどんなこと？」を全3日間の日程で開催しました。

不動産屋でお部屋探しのイロハを学んだり、職場体験として「生花店」と「クリーニング店」で、お客様への接し方やレジ打ち、掃除や裏方の作業など、普段お客として来ただけでは分からないことを教えていただきました。また、実際に勤務し、お給料をもらったと想定して、その中から皆さんがそれぞれ選んだ物件や、食費・光熱費など、どれにいくらかかるか、１ヶ月の家計のやり繰りなど、擬似のお金を使って収支の計算を勉強し、将来の自立生活に向けた貴重な経験や勉強ができたと思います。

▲寺岡「いずみやクリーニング店」様で伝票整理の体験

仙台市泉障害者生活支援センター「ふらっと泉」は仙台市にお住まいの身体障がい・知的障がいのある方、またその家族の方が地域で暮らすうえでの必要なサービスが受けられるようにお手伝いする相談・支援を行っています。

INFORMATION

泉障害者福祉センターからのお知らせ

自立(機能)訓練の利用者を募集しています!!

仙台市泉障害者福祉センターは、身体に障がいをお持ちの方を対象として、社会参加・地域での自立を支援する目的で平成4年に仙台市が開設したもので、通所により様々な機能訓練等を行っています。

機能訓練
身体機能の維持・向上・回復のための訓練を作業療法士の指導によって行っています。

言語訓練
言語聴覚士の支援により、さまざまな訓練を行います。

社会適応訓練
生活改善のために、身辺の処理能力の向上につながる各種訓練を行います。

給食サービス
利用者に対し、カロリーなどに配慮し出来たての食事を提供しています。

創作活動
絵手紙・書道など楽しみながらできる創作活動を行っています。

軽スポーツ
楽しみながらリハビリを行うため、障がい者が気軽にできるスポーツを行います。

送迎サービス
リフト付きバス、ワゴン車による送迎を行います。

対象となる方

18歳から64歳までの「身体障害者手帳」をお持ちの方で
- リハビリをしたいという方
- 社会参加や就労に向けて準備したいという方
- 同じ仲間と楽しい時間を持ちたいという方
- 作業療法士や言語聴覚士に相談したい方など

利用日・時間　**火曜日から土曜日の午前10時から午後3時**
※見学・体験をお待ちしています。また、ご利用料金についてもお気軽にご相談ください。

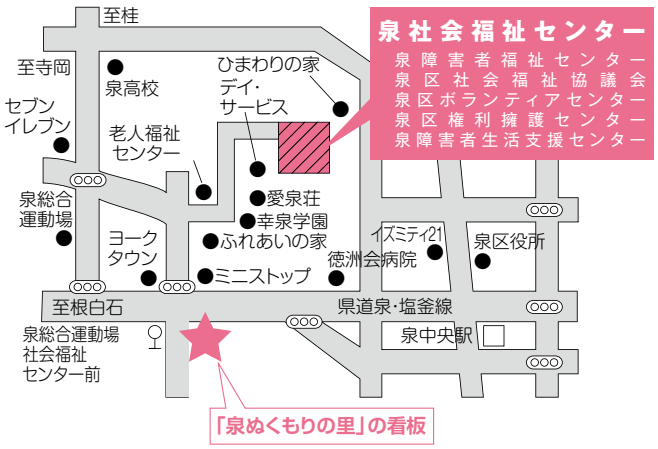
お申し込み・お問い合わせ　仙台市泉障害者福祉センター　担当　菅澤・田代
受付時間は午前9時より午後5時となっています。ただし、月曜日・祝日の翌日(日曜日・火曜日を除く)・年末年始(12月28日から1月4日)は休館日となります。

ご寄付ありがとうございました。

平成22年11月1日～平成23年2月8日

ご芳名

たんぽぽ会	様	34,900円	李茂基	様	500,000円
匿名	様	100,000円	宗教法人真如苑	様	300,000円
向陽会(ゴルフ愛好会)会長大友道之助	様	8,521円	アルプス電気株式会社古川工場	様	50,000円
七北田青年会	様	6,701円	エコ・フリマ桜会	様	10,000円



業務案内

泉ぬくもりの里

●社会福祉法人　仙台市泉区社会福祉協議会
〒981-3131　泉区七北田字道48-12(泉社会福祉センター内)
TEL 372-1581　FAX 372-8969

○泉区権利擁護センター(まもりーぶ仙台) TEL 372-1581
○泉区ボランティアセンター　TEL 372-2603
月曜～金曜　8:30～17:00(祝祭日年末年始除)
○泉障害者生活支援センター(ふらっと泉)
TEL 771-2728
火曜～日曜　8:30～19:00(祝祭日の翌日・年末年始除)

再生紙使用